

AU 代表部経済月報(2023 年 3 月)

アフリカ全般(日付順)

- アフリカ CDC で初の女性事務局長となることを目指したギニア・ビサウ人医師の挑戦は叶わなかった(4 日、The East African)。
- GSMA(モバイル企業)、アフリカ CDC と疾病対策に、モバイルを活用する MOU を締結(4 日、アフリカ CDC 事務局)。
- 欧米諸国がアフリカに注力し出したため、中国の投資・融資イニシアティブを脅かす可能性があり、中国の一带一路構想(BRI)は、新たな課題に直面(8 日、The Africa Report)。
- 食料価格の上昇で大きな打撃を受けたアフリカ 12 カ国で、妊婦らの栄養失調が過去 2 年間で 25% 増(8 日、AP News)。
- 2021 年 7 月から 2022 年 6 月にかけて、サハラ以南のアフリカで取引される暗号通貨は 1000 億米ドル(938 億ユーロに相当)以上とされる(8 日、Lemonde)。
- 2024 年 4 月に英国・アフリカ投資サミットを開催すると発表(9 日、The Africa Report)。アフリカ 24 か国を招待予定。
- AU 本部がサイバー攻撃を受け、ネットワークの一時閉鎖といくつかの機能停止を 1 週間以上余儀なくされた(13 日、fortune)。
- アフリカ CDC が PAVM(アフリカのワクチン製造のためのパートナーシップ)のリードパートナーを迎え、より広範なワクチン製造エコシステムを検討(13 日、fortune)。
- WHO は、Africa CDC と共同で、ワクチン製造のための 6 カ国(ルワンダ、ナイジェリア、エチオピア、ガーナ、ケニア、アルジェリア)を決定した(14 日、fanabc)。
- EAC(東アフリカ共同体)事務局、アルーシャ(タンザニア)新本部の着工へ(26 日、The East African)。
- AU、女児の栄養不良を軽減することに焦点を当てたアドボカシーキャンペーン開始宣言(28 日、AU 事務局)。

アフリカ各国(日付順)

- ナミビア、Orange 地域で 3 つ目の石油発見(6 日、Reuters)。
- ケニア、世界初のマラリアワクチンの使用を拡大(8 日、African News)。
- ガーナ、融資プログラムに関する要請を IMF の理事会に提示する方向で進む(8 日、VOA)。
- モーリタニア、340 億米ドルのグリーン水素プロジェクトに関する覚書を締結(8 日、VOA)。
- ウガンダ、2031 年までに原子力発電を開始する計画(10 日、The East African)。
- エジプト、中国エネルギー企業が 51 億ドルのエジプト水素プロジェクトを建設(10 日、GCR)。
- リビア、韓国企業が、発電所建設に 7 億 9000 万米ドル相当の契約締結(12 日、libyaobserver)。
- ケニア、湖が干上がり、約 1 万匹のワニが死亡(14 日、TheNewTime)。
- ナイジェリア、若手投資家向けに 6 億 7200 万米ドルのハイテクファンドを設立(15 日、News24)。
- ブルンジ、30 年以上ぶりのポリオ発生を発表(17 日、news.un)。
- タンザニア、マールブルグ病による 5 人の死亡を確認(21 日、APNews)。
- ジンバブエ、電力供給を強化するために中国から石炭を調達(22 日、AfricaNews)。
- ケニア、ドル危機・燃料不足の中、石油購入に向けて、シリング使用へ(23 日、AA)。
- エチオピア、サファリコム・エチオピア(当代表部注:住友商事が参画)、加入者数が 280 万人に拡大(24 日、businessdaily)。
- エチオピア、7 ヶ月間で近隣諸国への電力輸出で 4823 万米ドルを獲得(27 日、fanabc)。
- ケニア航空、2022 年に収入増にもかかわらず過去最高の 290M の損失を計上(28 日、Africa

News)。

●ウガンダのフィンテック企業がエチオピアでデジタルローンを提供(28日、Monitor)。

AfCFTA(日付順)

●AfCFTA事務局とAfDBは、ルワンダのキガリでAfCFTA調整基金を立ち上げることを発表(10日、AfCFTA事務局)

●AfCFTA事務局は2023年3月20日から24日にかけて第9回DSB会議を開催した(22日、AfCFTA事務局)。

●ケニアとの商業関係を強化するために、ガーナはAfCFTAを利用する意向を宣言(27日、AfCFTA事務局)

以上